

「面接官の印象」

1. 外国人面接官について

中年の白人、アメリカ英語。判りやすい英語で質問してくれたので聞き取りやすかった。質問に対する回答中も時々相づちを打って反応してくれてやりやすかった。意地の悪い質問やトピクスと無関係な質問もなかった。

2. 通訳ガイドについて

60代位と思われる女性ガイド。事務的でなく、こちらの言うことを何とか理解しようという配慮が感じられた。

「面接試験の実際」

3. 通訳試験について

《出題された日本語》

「三鷹の森ジブリ美術館は、東京三鷹市にある三鷹市立のアニメーション美術館です。宮崎駿さんが館主で、館内には宮崎駿さんの「魔女の宅急便」などの作品の絵本が展示されています。美術館には、台湾、香港、オーストラリアなどから毎日千人以上の外国人見学者が訪れます。」（記憶に残っている凡その内容です）

《解答した内容・試験様子など》

アニメーションには精通していなく、美術館の存在も承知していなかったことから、通訳には苦勞しました。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① シルバーウィーク
- ② 爛酒
- ③ 絵馬

《選択したトピック》

絵馬

《発表した内容・試験の様子など》

絵馬の形状、デザインや裏に願い事を記載して奉納する習慣があることなどを説明した。

4. 質疑応答について

Q. 絵馬のサイズは？

A. 手のひらより若干大き目サイズが普通である。

Q. なぜ馬の絵が描かれているのか？

A. 昔、実際に馬を奉納した慣例が、絵馬に変わった。しかし、今でも日光東照宮などでは馬を献上する習慣が残っている。東照宮の境内では見事な白馬が見られる。

Q. 東京で絵馬で人気の寺社はあるか？

A. 学問の神、菅原道真を祭っている湯島天神は、毎年受験シーズンともなると絵馬を買い求め、ご利益を期待する受験生で混雑する。

5. 試験を終えての感想

通訳試験への対応として、アニメなど比較的新しいトレンドにも日頃からアンテナを張っておく必要性を痛感した。尚、可否は今月 25 日に J N T O のサイトに掲載されるとのことです。

以上